



TRMP(武中ルールメイキングプロジェクト)

1 目的

- (1) 生徒に、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、他者と一緒に生活し、課題を解決していくための力を身に付けさせること。
- (2) 生徒も教師も皆が納得できる校則に改定していく取組を行い、そのプロセスや経験が、関わった人全体の貴重な学びや新たな気づきにつながることで、よりよい学校作りに繋げていくこと。

2 議論する時の2観点

『変わらず大切にしたいもの』 『検討余地のあるもの』 に焦点を当てて議論した。

3 生徒会参加型の職員研修による議論

なぜそうしなければ？ なぜそうすべきか？ ～TRMP;校則改定へ向けての取組～

【座席配置】

- 職員
- △ 生徒会
- 職員
- ☆ 職員
- ◇ 生徒会

武中学に誇りあり
自主・協同・永続・健康

R4.11.7 武中学校 職員研修

1 生徒会を中心にみんなで関わる

【学校教育目標】夢の実現に向け自ら考え、互いに認め合い学び合い成長する、心身ともに健康な生徒の育成

- ①なぜ校則改定に取り組むのか？
- ②「どうやって」「どの時期に」
- ③広がり「誰を巻き込むか」「子どもにどこまで任すか」

○時代の流れ
○生徒からの疑問や要望(毎年の生徒総会)
○生徒の主体性を養うため(主権者教育)
○よりよい学校作りのため

武中の「実態把握」を大切にしながら、実態と時代の流れに合った校則改定に繋げていく。時期は、4月～常に活動を心がける。

職員、生徒会、校区内小学校、山形県鶴岡市立鶴岡第二中学校、学校評議員会、PTA、教育実習生等からの情報や意見を考慮し、生徒会での話し合いの場をもとに土台を作る。

2 これまでの取組

月日	活動内容	関係者や関係団体
9/4	現在の校則について疑問に思うことについて	生徒、生
10/20	現在の校則について疑問に思うことについて(書き出し☆1)	生徒、生
10/20	企画委員会にて、今後のことについて告知	職
12/12	校則について全学級から集約した意見の回答や意識付け	職、生徒
2/23	今後の流れのたまかな確認	生徒、生徒
2/24	教育実習生に意見をもらう。(☆2)	生徒、実習生
2/27	第1回学校評議員会にて、武中の取組告知	校長、主任、評
1/15	小中連絡部会(於:武中)での情報交換(☆3:校則について)	校長、小中連絡部
2/22	タブレットを用いて制服検討のアンケート実施	生徒
3/30	第1回武校区安心安全N会議で、武中の取組告知	校長、武校区の方
6/6	第1回制服等検討委員会	校長、主任、体育科、保健室、衛生、副校長、PTA代表
7/19	山形県鶴岡市立鶴岡第二中学校とのオンライン交流(☆4:校則に関する情報交換や意見交換)	校長、主任、衛生、副校長
8/4	第2回制服等検討委員会	校長、主任、体育科、保健室、衛生、副校長、PTA代表
8/25	第3回制服等検討委員会	校長、主任、体育科、保健室、衛生、副校長、PTA代表
8/28	教職基礎研究生(産大生)に意見をもらう(☆6)	校長、教職基礎研究生
9/22	TRMP I(武中ルールメイキングプロジェクトI)昼休み	生徒、生徒、生
9/26	TRMP II(武中ルールメイキングプロジェクトII)昼休み	生徒、生徒、生
9/26	TRMP III(武中ルールメイキングプロジェクトIII)昼休み	生徒、生徒、生
10/20	TRMP IV(武中ルールメイキングプロジェクトIV)昼休み	校長、主任、衛生、副校長、PTA代表
10/20	TRMP V(武中ルールメイキングプロジェクトV)昼休み	生徒、生徒、生

職員研修
第二回 TRMP

3 分析・実態把握の結果

『強み』は伸ばす、『弱み』は改善

【職員】

武中の強み

- その他 23%
- 職員に関すること 3%
- 部活動に関すること 3%
- PTA・地域に関すること 11%
- リーダー、生徒会に関すること 34%
- 元気・素直・個性ある 26%

武中の弱み

- リーダー不足 12%
- 共通理解のしづらさ 15%
- 指導のしづらさ 19%
- 自主性・主体性のなさ 23%
- 様々なことへの対応の困難さ 31%

【生徒会】

武中の強み

- その他 18%
- 雰囲気・仲間 11%
- 個性のあること 9%
- あいさつ 9%
- 元気 24%
- 仲の良さ 29%

武中の弱み

- 遅刻 7%
- 人を敬ぶ心 7%
- マナー 11%
- 授業中なこと 25%
- メリハリ 50%

4 生徒会を中心にみんなで関わる

本日は、資料の内容を参考に、
『変わらず大切にしたいもの』
『検討余地のあるもの』の2観点をもって、
『髪型』と『靴下やインナーの色』について話し合ってください。(付箋を使ってもよいです。)

【座席配置】

- 職員…司会進行
- △ 生徒会…頑張って!(発表者)
- 職員…タイムキーパー
- ☆ 職員…記入役(または付箋貼り役)
- ◇ 生徒会…頑張って!

今後に向けて(いじめ防止)

いじめの4層構造
(いじめを集団の問題として捉える。)

傍観者
観衆
加害者
被害者

見て見ぬふりをする。
周囲ではやし立てたり面白がったりして見ている。
傍観者と観衆が大半を占めるので、ここをどうもっていくかが大切になる。周りの雰囲気作り大切。

4 TRMP 流れ(R4～) ※ R4 以前も校則についての取組は行っています。

月	活 動 内 容
R4	○ 校則の疑問点について生徒会(生活部長)が書き出す。企画委員会で、職員へ疑問点と今後の見通し周知を行う。 ☆R(実態把握)
4	○ 全学級から集約した校則についての意見を生徒会が回答する。教育実習生に意見をもらう。第1回学校評議委員会で武中の取組の周知を行う。 ☆P(計画立案)
～	○ 小中連携部会(於;武中)で、小学校との情報交換を行う。タブレットを用いて制服検討のアンケートを実施する。第1回武校区安心安全N会議で、武中の取組を周知する。
8	○ 第1回制服等検討委員会、山形県鶴岡市立鶴岡第二中学校とのオンライン交流(校則) ○ 職員研修(校則について)、第2回・第3回制服等検討委員会
9	○ 教職基礎研究生(鹿児島大学生)に意見をもらう。 ○ 校則について検討するためのTRMP(武中ルールメイキングプロジェクト)Ⅰ～Ⅶを、定例会として昼休みに実施する。 ☆D(実行)
～	○ 第2回学校評議委員会や第2回主任児童委員・民生委員と語る会で、取組の周知 ○ 職員研修(生徒会と職員全員による議論) ※事前に校長と生徒会の予備議論を実施
12	○ 学校評価に新たに内容を位置づけて、今後の評価対象とする。 ☆C(評価) ○ 職員会議で取組の周知を行う。
R5	○ TRMPⅨを昼休みに実施、これ以降も必要に応じて実施する。
1	○ 校則改定取組について全校生徒に周知し、新生徒会で状況の把握を行う。(意見収集や改善策検討)
～	
3	○ 新入生説明会にて、小学6年生やその保護者に対して周知を行う。 ○ 山形県鶴岡市立鶴岡第二中学校とのオンライン交流(校則)、学校評価の活用
R5	○ 職員会議でよりよい前進のための発信(生徒指導共通理解を含む。) ☆A(改善・前進)
4	○ 入学式にて、新1年生やその保護者に対して周知を行う。
～	○ 生徒総会にて、情報発信と校則等について全生徒へ意識付けを行う。
8	○ 第1回主任児童委員・民生委員と語る会で、取組や課題の周知を行う。 ○ 教育実習生に意見をもらう。 ○ 第1回・第2回学校運営協議会にて周知と意見協力依頼を行う。
9	○ 教職基礎研究生(鹿児島大学生)に意見をもらう。
～	○ 第2回主任児童委員・民生委員と語る会で、取組や課題の周知を行う。
12	○ 武中学校ホームページへTRMPを公開する。 ○ 第3回学校運営協議会にて周知を行う。
R6	○ 新入生説明会でHP公開を新1年生の生徒・保護者へ伝達 → 中1ギャップ解消や中学校生活への見通しをもってもらう。
1	
～	○ 新生徒会にて、随時見直しを行う。(生徒指導部と連携する。)
3	